



東っ子供り

令和5年6月26日

第6号

大津町立大津東小学校
校長 太田黒 保宏

子どもにとって“必要な力”

先日、武藤前校長と今村前教頭に、授業を参観いただきました！先生方の東小“愛”に感謝いたします！またの来校を計画中です！



子どもたちにどのような力を付けるべきなのでしょうか？

よく言われるのは“生きる力”です。知・徳・体の3つをバランス良く子どもたちが身に付けていくこと。これは本校の校訓「体を鍛え（体）、心を磨き（心）、自ら学ぶ（知）」にあるように、一人ひとりのよさや可能性を引き出すためにはとても大切なもので、その力が将来の夢を現実のものにしていくといってもいいでしょう。

そこで学校では、子どもたち一人ひとりの個性やよさの伸長とともに、課題を明確にしながら個別最適な授業づくりを模索しています。実際に、毎週水曜日の6時間目は、全職員で授業の在り方を研究する時間（校内研修）を設けています。ここでは、本校の小規模校というメリットを生かして、子ども一人ひとりが主体的に学び確かな学力を付ける授業づくりを目指しています。これまでの研究の蓄積である“東小かぜのこ学習モデル”や昨年度作成したチェック項目“からいも”を使った振り返り、学習リーダーの活用などを進め、子どもの主体性を大切にしながら確かな学力の定着を図っています。

先日は、本年度初めての研究授業を3・4年生で実施しました。複式授業となる3・4年生は、それぞれに学習リーダーとしての力を育てながら、子ども主体の学習を展開しています。3年生は、タブレットを使って各自で慣用句クイズを作り、実生活と結びつけ慣用句に親しんでいました。また、4年生は「走れ」という物語単元で、登場人物の気持ちの変化や性格、情景などを捉えながら学んでいました。どちらの学習も、子どもの探究心を揺さぶるめあて等が設定され、意欲的に学ぶ姿が見られました。今後も、キャラクター“ひがっしー”を活用し、担任と学習支援員が連携して個々の力を高める指導方法などを研究していきます。



学習の振り返る3年生



心情を想像する4年生

町学力調査の結果

問題文は、初めて読みます。そんな文章を“早く正確に読む”力がカギです！



どのような取組が必要なのか。昨年12月（半年前）に受検した県学力・学習状況調査の結果をもとに、これまで、子ども一人ひとりの学力向上を図ってきました。

そして、3年生以上が4月に受検した町学力調査の結果が、先日学校に届きました。次の表は、全国平均を50とした場合、本校の各学年平均を表した結果です。

	国語		算数	
	(R4) 12月	(R5) 4月	(R4) 12月	(R5) 4月
小3	52.3	50.1	49.9	52.7
小4	47.1	49.9	48.2	50.5
小5	52.6	52.7	46.2	49.4
小6	55.4	53.8	55.7	54.1



本校の“小規模校”であることから考えると、学年平均はあまり意味があるとは言えません。また、一面的なテストにおける結果で、一喜一憂するもどうか、と考えます。

しかし、平均を見ただけでも、子どもたちに確かな学力が付いてきたことは明確です。

今回の結果から、本校の子どもが、記述問題が解けていないことが分かりました。前回同様、問題文を読むことに時間がかかったり、考えを文章にまとめたりするのに時間を要するようです。まず、“読む力”です。読解力の定着には、時間を要します。子どもたちが物語などの文章を読むことや教科書の音読をすることなど、日頃から読み物に触れることが必要であると思われます。その点を意識しながら、これから指導していきます。

ゲストティーチャー招聘

考えを文章に表したり、それをみんなに伝えたりする“表現力”の育成も、本校の課題の一つです。そこで、専門性の高いゲストティーチャー（GT）を招聘し、表現する楽しさを体験しました。その様子の一部をお知らせします。

【“表現力”をつける体験編】

熊本市の劇場を中心に、テレビ等でもご活躍されている“劇団きらら”さんは、まさに表現力のプロです。そこで、6月19日に、劇団員や俳優、ダンスアーティストの方7名を招聘して、全学年2時間ずつ演劇ワークショップを指導していただきました。（※3年生以上は、26日にも2時間演劇づくりに挑戦しました。）

当初は緊張した面持ちだった子どもたちも、直ぐに“表現することの喜び”を味わっていました。

「想像力は生きる武器になる。」

池田さん（劇団きらら代表）の言葉を、子どもたちは体験を通じて教わりました。諦めないこと、他の方法を探すこと、危険を察知することなど、想像力の大切さを学んでいました。

「リーさんとダンスバトルができて楽しかったし、リーさんは上手だなと思いました。」
「前も教えて貰って楽しかったけど、今日も楽しかった。これからも想像力を持って考えていきたい。」

子どもたちの感想には、本日の学びが詰まっていました。



早口言葉を楽しむ1・2年生



ドリブルダンスをする1・2年生



3・4年生のエア長縄



5・6年生はアドリブ劇に挑戦

学校では、これからも意図的に、計画的に様々な経験を通じて子どもたちに必要な力を付けていきます。この経験が、“いつかきっと生きる”と信じています。

田植え

6月16日に、全校児童で田植えをしました。

始めの会をした後、縦割り班ごとに“コメコメランド”（学校の借用田）へ移動しました。初めて田んぼに入る1年生は、高学年生に手を引かれ、とても嬉しそうでした。「うわーっ。なに、これ?!」

恐る恐る足先をつけ、その感触に戸惑っているようです。しかし、直ぐに慣れました。

「足が抜けない。助けて、助けて！」

田植えを楽しむ声が響きました。

これから5年生を中心に観察やお世話をし、10月には収穫予定です。

ご協力いただいた吹田の吉岡さん、地域コーディネータの内村さん、そしてPTAの皆様には、感謝申し上げます。



5年生の説明



みんなて田植え



お礼を言う5・6年生

いただきました!

【外牧区老人会】

6月12日に、外牧区老人会（代表：佐藤様）から、輪投げなどの遊具をいただきました。有効に活用いたします。



贈呈の様子

【みつばち文庫】

図書先生に応募して頂き見事8冊の本が当たりました。皆さん、図書室で読みましょう!



大津東小ホームページもご覧ください!

大津東小学校 検索

